



制作中にもぎわう大本堂前

氷の彫刻展

参詣客に伝わる熱意

3/11

270キログラムの厚い氷を削って彫刻を作る「氷の彫刻展」が成田山新勝寺大本堂前で開催されました。参加者は全国各地から集まった調理師など約20人。2時間という制限時間の中で、チェーンソーやのみなどの工具を巧みに扱い、繊細な作品を造形しました。会場には動物から人型までさまざまな彫刻が立ち並び、訪れた参詣客は冷たい氷にこもった熱意に感じ入っていました。



作品の完成を見守る

かわいい動物が
ずらり



切り込みを入れる位置が肝心

春からの楽しいお弁当づくり

食べる人の顔を想像して

3/6

お弁当を華やかにするウインナーソーセージやハムの飾り切りを学んでもらう「春からの楽しいお弁当づくり」が、三里塚コミュニティセンターで行われました。参加者は、切り込みを入れたウインナーソーセージを組み合わせでゾウ、ラッコなどの動物を、ハムを重ねて巻いてキクの花などを作りました。一つ出来上がるごとに「かわいい。子どもが喜びそう」「ライオンだと分かるかしら」など、お弁当を食べる家族の顔を思い浮かべては、笑顔で感想を述べていました。



長谷川選手と小泉市長

サッカー・長谷川選手が表敬訪問

水戸ホーリーホックへ入団

2/27

本市出身で、Jリーグの水戸ホーリーホックへ入団した市立船橋高校サッカー部の長谷川凌選手が、市役所を訪問しました。長谷川選手は小学生の時にFCボレイロ成田に所属しさまざまなポジションを経験。ゴールキーパーになった中学生以降、めきめきと頭角を現していきました。長谷川選手は、応援してくれた人への感謝の気持ちや、これからの意気込みを語りました。そして、市内の子どもたちへ「目標を持ち夢を追い掛け続けてください」とエールを送りました。

熊野神社の湯立神事

豊作や健康を祈って

3/1

吉倉地区にある熊野神社で、恒例行事の「湯立神事」が執り行われました。湯立とは、釜で煮立てた湯を用いて無病息災や五穀豊穡などを願う神事。神主が竹を使って湯を勢いよくかき回し、それによって盛り上がった湯の高さで農作物の豊凶を占いました。この湯は浴びると無病息災になるともいわれ、神主は束状にしたクマザサを釜の湯に浸してから参加者に向かって振り払い、地域の人たちの健康を祈りました。



力強く湯をかき回す



懐紙の使い方を教わる

はじめての茶道教室

和の心を体験

3/4

日本文化を知ってもらおうと「はじめての茶道教室」がもりんぴあこうづで開かれました。参加者はまず、お菓子の食べ方やお茶のたて方など茶道における作法を学びました。その後、お茶をたて客をもてなす亭主役とお茶を運ぶサポートなどをする役に分かれて実践。参加者の1人は「慣れない正座に足がしびれてしまった。ちょっとお茶が苦かったけれどおいしかったので、また参加したい」と語りました。

歴史ウォーキング

身近な所で新たな発見

3/10

市内にある史跡を見学して歴史を学んでもらおうと「ニュータウン地区歴史ウォーキング」が行われました。この日はニュータウン南部巡りとして、中央公民館をスタートし、赤坂・加良部・江弁須・橋賀台・はなのき台地区の公園内にある古墳や遺跡、寺社や城跡など8カ所を歩くコース。参加者は、講師の解説に聴き入ったり、質問したりしながら、約5キロメートルの道のりを3時間かけて巡りました。



神社の歴史を解説